

第213回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成25年12月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,590	-1.08	0.14	4,133	0.29	0.19
東部地区	14,262	-0.35	0.06	5,699	0.05	0.01
西部地区	10,378	-1.39	-0.07	3,983	0.02	0.05
駅南地区	6,358	-0.50	-0.15	2,765	-0.14	0.00
半田地区	3,702	0.13	0.16	1,400	-0.14	0.00
横山地区	5,590	-1.51	-0.05	1,943	-0.56	0.05
茨目・田尻地区	7,028	0.04	0.14	2,474	2.06	0.16
荒浜地区	5,009	-1.16	-0.05	2,009	-0.49	0.00
その他地区	19,524	-1.79	-0.10	7,144	-0.23	0.02
西山町地区	5,996	-2.23	-0.14	2,121	-1.62	-0.04
高柳町地区	1,693	-3.97	-0.11	793	-1.73	0.37
柏崎市計	89,130	-1.14	-0.01	34,464	-0.07	0.05
刈羽村	4,795	-1.49	-0.29	1,567	-0.44	-0.12
小国地区（長岡市）	5,933	-2.35	-0.18	2,125	-0.79	-0.18
出雲崎町	4,864	-2.19	-0.16	1,771	-1.11	0.00
合計	104,722	-1.28	-0.04	39,927	-0.17	0.03

（資料出所：柏崎市、各市町村）

人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で1,035人、1.14％、刈羽村で73人、1.49％、小国地区（長岡市）で、143人、2.35％、出雲崎町で109人、2.19％とそれぞれ減少しており、全体では1,360人、1.28％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で17人、0.01％、刈羽村で14人、0.29％、小国地区で11人、0.18％、出雲崎町で8人、0.16％減少しており、全体では50人、0.04％減少している。一方、世帯数は、前年同月比では、柏崎市で27世帯、0.07％、刈羽村で7世帯、0.44％、小国地区で17世帯、0.79％、出雲崎町で20世帯、1.11％減少したことから、全体では71世帯、0.17％の減少となった。また、前月比においては、柏崎市で20世帯、0.05％、増加し、刈羽村で2世帯、0.12％、小国地区で4世帯、0.18％減少した結果、全体では14世帯、0.03％増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,506		36.66		0.60	
月間有効求職者	1,638		-2.38		-3.92	
月間有効求人倍率	0.92	1.11	0.26*	0.25*	0.04*	0.00*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,506人と前年同月比で404人、36.66％の増加となり、前月比でも9人、0.60％増加している。

月間有効求職者数は、1,638人と前年同月比で40人、2.38％減少し、前月比でも67人、3.92％減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.92倍と前年同月比で0.26ポイント上回り、前月比でも0.04ポイント上回っている。なお、県平均1.11倍と比べると0.19ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が517人と前年同月比で129人、33.25％増加し、月間新規求職者数が379人と前年同月比で9人、2.43％増加した結果、月間新規求人倍率は1.36倍となり、前年同月の1.05倍に比べて0.31ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	14	-5	-25	332	49
共 同 住 宅	1	1	0	13	-11
事 務 所	0	0	-1	7	4
作 業 所・工 場	0	0	0	4	-3
営 業 建 物	0	-2	-1	16	0
公 共 建 物	0	0	-1	3	0
そ の 他	4	-1	-6	94	-17
合 計	19	-7	-34	469	22

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が19件と前年同月比で7件の減少となり、前月比でも34件減少している。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比5件の減少となり前月比でも25件減少している。共同住宅は前年同月比で1件増加しており、前月比では増減なしとなっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が12件となっており、また一般住宅(併用)14件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が6件(うち新築6件)、市外施工業者が8件(うち新築6件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,817	0.45	0.18	20,759	-11.20	17.64
電 力	10,059	-3.12	1.65	38,078	0.75	4.06

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で295口、0.45%増加し、前月比でも、123口、0.18%増加している。一方、電力においては、前年同月比で324口、3.12%減少し、前月比では164口、1.65%増加している。

使用量は、電灯が前年同月比で2,619kwh、11.20%減少し、前月比では、3,113kwh、17.64%増加している。一方、電力においては、前年同月比で284kwh、0.75%増加し、前月比でも、1,489kwh、4.06%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,288,220	-5.38	42.80	670,538	-2.47	-4.30
営 業 用	254,708	-7.89	49.89	109,546	-2.73	-5.27
工 業 用	824,756	4.80	17.30	107,836	1.67	-0.88
官 公 学 校 用	548,252	-9.39	55.06	70,925	-4.11	-3.15
そ の 他				47	104.34	-38.96
合 計	2,915,936	-3.76	36.98	958,892	-2.17	-3.95

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で114,207m³、3.76%減少し、前月比では787,294m³、36.98%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比は工業用を除く用途で減少しており、前月比では、すべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で21,304m³、2.17%減少し、前月比でも、39,537m³、3.95%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、工業用を除く用途で減少、前月比では、すべての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	84,338	1.48	-6.03	87,143	-0.48	-7.11
西 山	37,802	5.05	-11.23	35,364	7.06	-8.01
米 山	17,116	4.74	-26.35	16,385	6.33	-17.76
合 計	139,256	2.82	-10.49	138,892	2.12	-8.73

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で3,829台、2.82%増加しており、前月比では16,322台、10.49%減少している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で2,885台、2.12%増加し、前月比では、13,300台、8.73%減少している。

インター別で見ると、前年同月比では、柏崎インターの出口で減少しており、前月比では、すべてのインターの入口・出口で減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	372,312	2.81	1.33	144,824	-1.72	1.60
平 残	371,270	3.23	1.12	142,592	-1.80	0.59

預金は、末残が前年同月比で10,211百万円、2.81%増加し、前月比でも、4,918百万円、1.33%増加している。また、平残においては、前年同月比で11,620百万円、3.23%増加し、前月比でも、4,121百万円、1.12%増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,544百万円、1.72%減少し、前月比では2,281百万円、1.60%増加している。平残においては、前年同月比で2,614百万円、1.80%の減少となり、前月比では、837百万円、0.59%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	28,287	13.05	34.83
交 換 金 額	21,299	33.05	43.73
不 渡 り 手 形 枚 数	17	0.00	183.33
不 渡 り 手 形 金 額	62	277.40	139.82

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で3,266枚、13.05%増加し、前月比でも7,308枚、34.83%増加している。また、交換金額においては前年同月比で5,291百万円、33.05%増加しており、前月比でも6,481百万円、43.73%増加している。なお、不渡手形は17枚、62百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、8件（前年同月12件、前月4件）、負債総額41億円（同38億円、同4億円）となっており、地区別では下越地区で6件（新潟市5件、三条市1件）、中越地区で1件（柏崎市1件）、上越地区で1件（糸魚川市1件）発生している。

業種別は、製造業が2件、卸売業が1件、小売業が1件、不動産業が1件、運輸・通信が1件、その他2件となっており、倒産原因別の状況については、販売不振が3件、経営者の病気・死亡が1件、その他が4件となっている。倒産件数は、前年同月比で4件減少しており、負債額10億円以上の大型倒産は2件発生しており負債総額は2013年最多となっている。

県内景気は6ヶ月連続で改善しているが、一部では消費税増税前の掛けこみ需要が終わりを迎えつつあり、増税後の先行き見通しは落ち込んでおり、本格的な景気回復に向け各企業が業況を維持できるかどうか注目される。